

※今月のみ受注の書目です。

国際政治

石油が国家を作るとき

天然資源と脱植民地化 (2025 年 1 月上旬刊行予定)

向山直佑 (東京大学未来ビジョン研究センター准教授) [著]

A5 判上製 / 296 頁 税込予価 4,620 円 ISBN978-4-7664-3004-2 C3031

👉 ココに注目!

- ・「存在しなかったはずの国家」誕生の秘密に迫る。
- ・天然資源である石油が国家形成に与えた影響を考察。
- ・英国立公文書館で収集した植民地行政文書を詳細に分析。

東南アジアのブルネイ、中東のカタール、バーレーン——。これらの国々は脱植民地期にあって、宗主国イギリスの思惑に逆らい単独独立を果たした。植民地時代の石油は、なぜ、あるはずのない国家を生み出したのか。天然資源が、国家形成に与える影響について、理論的かつ体系的な説明を与える新鋭による快著。

対象 (国際政治・関係論を専攻する) 研究者、学生

類書 マイケル・L・ロス『石油の呪い』(吉田書店)

【営業部からのおすすめポイント】

本書の舞台となるのは、主に 19 世紀～1980 年代の東南アジア・中東の国々となりますので歴史的な内容も多分に含みますが、天然資源をめぐる国家間交渉は、現在の世界情勢の中でさらに大きな関心事となっています。ぜひ「国際政治(または地政学)」の書籍として展開をご検討ください。 (乙子)

👉 著者紹介、目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【著者紹介】

向山直佑（むこやま・なおすけ）

東京大学未来ビジョン研究センター准教授

1992 年生まれ。東京大学法学部卒業後、同大学院法学政治学研究科総合法政専攻修士課程修了。2021 年 3 月、オックスフォード大学政治国際関係学部博士課程修了 (DPhil in International Relations)。ケンブリッジ大学政治国際関係学部ポスドクトラルフェローを経て、現職。主な論文に、“Colonial Oil and State-Making” *Comparative Politics*, 55(4), 2023; “The Eastern cousins of European Sovereign States?” *European Journal of International Relations*, 29(2), 2023; 「第三国による歴史認識問題への介入の要因と帰結」『国際政治』187 号, 2017 など。石橋湛山新人賞、日本国際政治学会奨励賞、佐藤栄作賞優秀賞等、受賞多数。

【目次】

序 章

パズルとしての単独独立／本書の主張／研究方法／本書の意義／本書の構成

第 1 章 単独独立の理論

二つの歴史／単独独立の理論／対抗仮説／結び

第 2 章 ボルネオ島における石油と脱植民地化——ブルネイの単独独立

帝国主義時代のボルネオ／ボルネオの脱植民地化／ブルネイの単独独立／サラワク、北ボルネオ、オランダ領ボルネオ／結び

第 3 章 ペルシャ湾岸における石油と脱植民地化——カタールとバーレーンの単独独立

帝国主義時代の湾岸南部／湾岸における脱植民地化／カタールの単独独立／バーレーンの単独独立／ラース・アル＝ハイマの失敗／結び

第 4 章 他地域における単独独立とその不在——クウェート、西インド、南アラビア

クウェート／西インド諸島／南アラビア／結び

第 5 章 天然資源の多様な影響——歴史と比較の観点から

資源の分類／石炭／金銀／天然ガス／結び

結 論

主な分析結果／国家形成を再考する／資源政治を再考する／現代政治への示唆

あとがき

註

参考文献

索引



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			向山直佑 著 石油が国家を作るとき —天然資源と脱植民地化 ISBN978-4-7664-3004-2 C3031	4,620 円	★★

★1 つで「500 部」を表します